**地理（または現代社会）学習指導略案**

１　校種・学年　高等学校・第１学年

２　本時の目標

・統計データを用い、データの分析をする力とグラフを作成する力をつける。

　　・都道府県によって特徴に違いがあることに気付かせる。

　　・新しい目標を見つけさせ、そのために今後どんなデータを集める必要があるかを考えさせる。

　 ＜本時の展開＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  **主な発問** | **生徒の学習活動・予想される生徒の反応** | **留意点** |
| 導入 | ・どこの都道府県が自動車を多く保有しているのか？・どこの都道府県に交通事故が多いのか？また、その理由はなにか？ | ・大阪や東京は人口が多いので、保有台数が多いのではないか。・地方は交通の便が悪いので、保有台数が多いのではないか。・地方は、混雑がなさそうなので、事故が少ないのではないか。 |  |
| 展開 | ・グループを作らせる。（5人1組）・教材データを提示する。　○都道府県別の事故発生件数。・仮説をたてる。・仮説を実証できるようなグラフを自ら作成してみよう。・グラフについて、どういうことが読み取れるのか考え、発表してみよう。 | ＜仮説の例＞都会は、事故数や死者数が多いのではないか。・グループでグラフを作成する。○都道府県別の1000人当たりの交通事故数○都道府県別の1000人当たりの死者数○都道府県別の1000人当たりの死者数と都道府県別の1000人当たりの交通事故数のグラフ・実際に作成したグラフを用いて、読み取れることを発表する。・愛知県や大阪府、東京は、事故発生件数が多い。大都会で多いのか。・香川県や高知県は、1000人あたりの死者数が多い。 | ・グラフは、生徒が作成したいと考えている内容を尊重する。 |
| まとめ | ・発表した結果をもとに、新たなテーマを考え、そのためにはどのようなデータを付け加えればいいのかを考えさせる。 | ・香川県では、なぜ1000人あたりの死者数が多いのか。・静岡県では、事故は多いけれども死者数が少ないのはなぜか。・＜例＞都道府県別の交通違反件数との相関関係があるのかどうか。 |  |

都道府県別の交通事故発生状況、自動車保有台数等（平成24年）











